

ディスレクシアと不登校

立正大学 心理学部

仲嶺実甫子 nakamine07@ris.ac.jp

本日のお話

- ◆ディスレクシアの児童生徒の二次障害①（不登校）
- ◆ディスレクシアの児童生徒の二次障害②（抑うつ・自尊感情）
- ◆学校へ行くことが嫌になってしまった生徒への支援①（ケース発表）
- ◆学校へ行くことが嫌になってしまった児童への支援②（ケース発表）

発達障害と二次障害



発達障害と不登校①

- ◆鳥取県の全小中学校における発達障害を持つ児童生徒の不登校発現の割合 (小林, 2002)

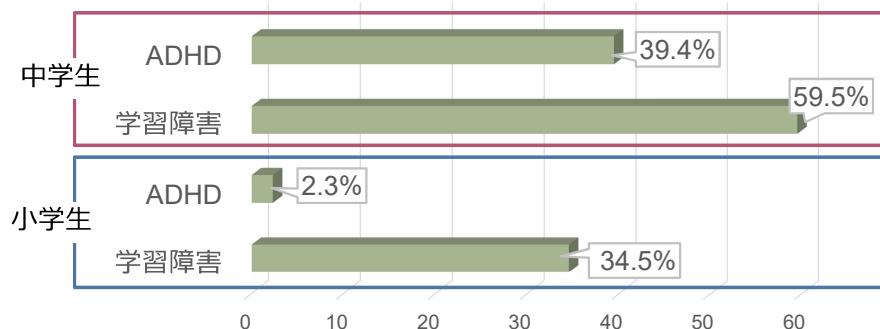


Figure 1. 鳥取県の全小中学校の発達障害の児童生徒の不登校発現率

発達障害と不登校②

◆不登校児童生徒のうち発達障害の疑いのある割合を調査（中野, 2009）

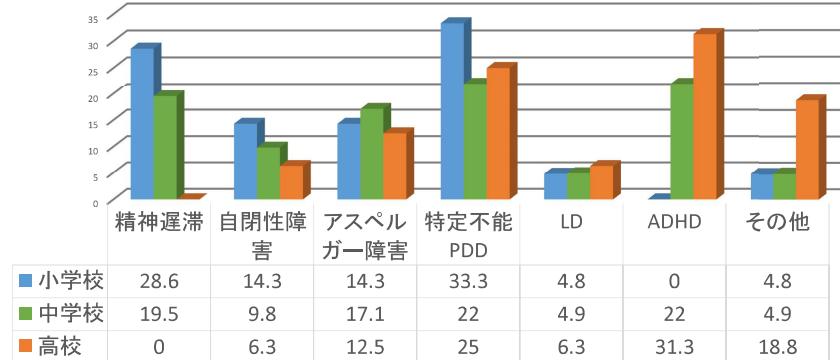


Figure 2. 不登校児童生徒の発達障害の割合

子どもが学校場面で感じるストレッサー

【教師との関係】

【友人関係】

【部活動】

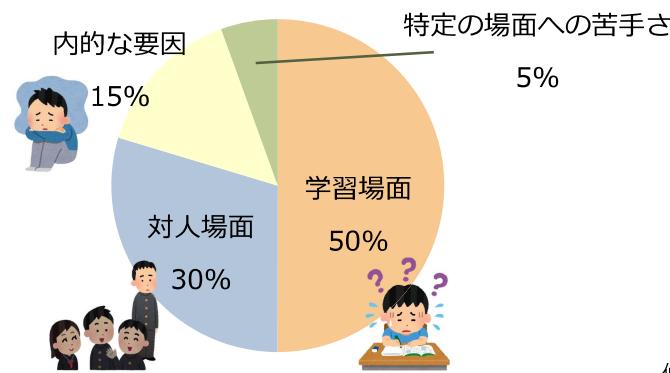
【学業】

【規則】

【委員活動】

岡安他(1992)

ディスレクシアの児童生徒が不登校の理由として報告した場面



仲嶺他(2017)

学業場面を理由としての報告

学業場面
27

特定の場面の苦手さ (4)	集団での勉強が分からない スピーチをするのが嫌
宿題のできなさ (2)	宿題をしていないこと 宿題がいや
学習への遅れや難しさを感じる (8)	勉強がわからずおもしろくない 勉強が難しくなってきた 勉強するんだったら死にたい
学習への拒否反応 (5)	勉強があるから学校に行きたくない 書写の授業で休んでしまう 字を書く事が苦手
読み書きの苦手さ (3)	読み書きのことで癪癩を起して友達にあたる 授業中思い通りにならないことがあると叫ぶ
学業場面でのかんしゃく (3)	通常級についていけないが支援級にいきたくない 学校での配慮を受け入れられない
支援級で学ばなければいけない (2)	

仲嶺他(2017)

発達障害を持つ児童生徒が学業ストレスによって 自信を無くし、抑うつ気分を示すプロセス

◆発達障害の診断を持つ児童生徒を対象として調査を行った。

